

報道関係者各位

三井不動産レジデンシャル株式会社

「住の自由化」を目指す 多拠点居住サービス 「n'estate（ネステート）」 トライアル開始

三井不動産レジデンシャル株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：嘉村 徹）は、お客様一人ひとりの多様な暮らし方をサポートする多拠点居住サービス「n'estate（ネステート）」を、2022年9月29日より順次トライアルとして開始いたします。

近年、人々のすまいや暮らし、働き方への意識が多様化してきています。さらに、コロナ禍を経て、場所・期間にとらわれず、「働く」「憩う」「楽しむ」といった行動が自由に、フレキシブルに実現できる新しいライフスタイルがより一層求められています。

このようなニーズに応えるべく、「n'estate（ネステート）」を立ち上げました。本サービスは、「住の自由化」をコンセプトに、都心や地方都市を中心に展開する当社賃貸マンションシリーズ「PARK AXIS（パークアクシス）」や三井不動産グループ企業、パートナー企業の施設を活用し、個人が自由に拠点を選択しながら生活するライフスタイルを提供する点が特長です。

今後も、当社ブランドコンセプト「Life-styling × 経年優化」のもと、多様化するライフスタイルに応える商品・サービスを提供することで、すまいとくらしの未来を探求し続け、持続可能な社会の実現・SDGs へ貢献してまいります。



「n'estate」の特長

（1）エリアや拠点、利用期間を自由に選択可能

仕事、趣味、レジャー、観光、リフレッシュなど多様な利用目的に応じて、エリア、拠点、利用期間（1泊単位や1ヶ月単位）を選択し、無理なく現在のお住まいとは別の生活空間でのくらし（多拠点居住）が実現できます。

（2）三井不動産グループの施設など多彩な施設を用意

・全国各地の三井不動産グループやパートナー企業の施設が利用でき、自分に合ったくらし、ライフスタイルを気軽に発見、体験できます。

＜都市型拠点＞

当社賃貸マンション「PARK AXIS」を家具家電やアメニティ付で提供。

都心での良質な暮らしを手軽に体験できます。

＜郊外型拠点＞

農園体験など、郊外ならではのくらしが実現できます。

・今後も順次、トライアル拠点を追加し、多様な暮らし方を提案していきます。

■ 「n'estate」の名称について

「n'estate」は、多拠点を表す「N拠点」や「New（新たな）」、「Next（次の）」、「Necessary（必要な）」、「Nature（自然豊かな）」、「Natural（自然体でいられる）」、「New normal（新時代的な）」といった本サービスの提供価値の頭文字と、財産、不動産、くらし向き、生涯のある時期といった意味を表す「estate」を組み合わせた造語です。

■ 「n'estate」のコンセプト / コピー

すまいを、
くらしを、
こころを、
動かす。

都市に住むことで得られる利便性と、
自然豊かな地に住まうことで得られる充足感。
そのどちらもが、人生にとって大切であることを、私たちは知っています。

次の時代のすまいとくらしのあり方を考える。
どちらか一方を選ぶことが、もう一方をあきらめてしまうことにならないように。
どちらも無理なく取り入れられる、そんなすまいとくらしの未来をつくりたい。

すまいが動くと、くらしが動き出す。
くらしが動くと、こころが動き出す。

動く。動かす。
すまいとくらしの未来へ。

■ 「n'estate」の特長

（1）多様なライフスタイルに合わせてエリアや拠点、利用期間を自由に選択可能

当社が事前に行ったアンケートやインタビューでは、「多拠点居住」において、住み替えにかかる金銭的なハードル、セカンドハウスの探索やリフォームに要する時間的なハードル、また、手配や段取りが煩雑で気軽に行うことができないという心理的なハードルがあることが分かりました。「n'estate」は、現居の住み替えやリフォーム、セカンドハウスの購入といった選択肢だけでなく、もっと手軽に、もっと身近に、好きなエリア、好きな拠点、好きな用途、好きな期間（時間）を自由に選択できる、新しいすまい方・くらし方を実現できるサービスです。ライフステージの変化やその時々のお気持ちに合わせて、すまいとくらしを自由に選択できる「住の自由化」が実現したすまいとくらしの未来を体感いただけます。

本トライアルに先行して2022年3月より実施した「三井のすまいLOOP」会員様向けのモニター体験においては、1日、10日間、1ヶ月単位のいずれのプランに対しても募集定員を超える多数の応募をいただきました。テレワーク等の普及に伴い、幅広い年代、多様な働き方、家族構成の方々にとって、様々な目的で多拠点居住サービスを利用したいという意向・ニーズがあることがわかりました。モニター体験結果での気づきを活かし、今回のトライアルでは新たな拠点もご用意しています。

<「n'estate」の特設ウェブサイト/SNSアカウント>

- ・特設ウェブサイト <https://www.31sumai.com/nestate/>
※本サイトより各拠点のお申込みサイトへのアクセスが可能です。
- ・公式Instagramアカウント https://www.instagram.com/nestate_official/

(2) 三井不動産グループの施設など多彩な施設を用意

都市部の利便性を享受できる良質な住環境や、都会の喧騒から離れ農業やサステナブルな取り組みを体験できる拠点など、多様な施設をご用意しています。2022年9月29日より予約・利用可能となる拠点は10箇所、今後も順次新たなトライアル拠点を追加してまいります。

<都市型拠点>

「PARK AXIS」は従来、主に2年単位での賃貸借契約でお住まいいただいておりますが、今回のトライアルでは住宅宿泊事業法などを活用し、1泊・1ヶ月単位でご利用可能な部屋を用意しています。各拠点は家具家電・アメニティを備え付けており、手軽に利用できる上質な住環境を提供します。

【1泊単位での利用】

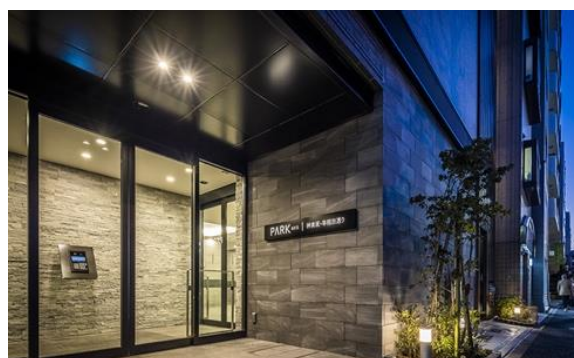
- 興味や憧れの街での試住体験が手軽に可能
- 繁忙期等、通勤負担の軽減のため勤務地近くでの利用
- 家族や友人複数人での旅行でもご自宅と変わらず寛ぎながら過ごせる



三井の賃貸

PARK AXIS

本所 吾妻橋
サウスレジデンス



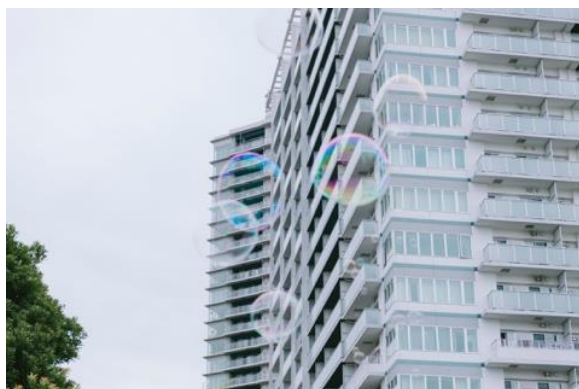
三井の賃貸

PARK AXIS

神楽坂・早稲田通り

【1ヶ月単位での利用】

- 観光地に中長期滞在しながらワーケーション利用
- 引越しやリフォーム等のために仮住まい先が必要
- 現在のお住まいとは異なる住環境でリフレッシュしながら過ごしたい



三井の賃貸

PARK AXIS

豊洲
キャナル



三井の賃貸

PARK AXIS

札幌植物園前

<郊外型拠点>

就農体験をはじめ自然とのつながりを感じることができ、都心からのアクセスもよい2つの拠点をパートナー企業との提携により実現。都心ではなかなか体験することのできない付加価値を提供します。

※利用対象者は「三井のすまいLOOP」会員

- ^{クルック フィールズ} KURKKU FIELDS（千葉県木更津市矢那2503） パートナー企業公式HP：<https://kurkkufields.jp/>

都心から車で1時間。日常から離れて思いのまま、自由にのびのびと過ごせる「余白」が、ここにはあります。広大な敷地内を散策したり、酪農エリアで愛らしい動物たちに癒されたり、オーガニックファームで農業を体験してみたり。トレーラー型のタイニーハウスや新たに開業予定のヴィラ型宿泊施設は快適に整えられており、普段アウトドアに馴染みのない人でも気軽に、自然との心地よい一体感を味わうことができます。※1泊単位でのご利用です。



- ^{はたすみか} 畑住処（埼玉県加須市陽光台2丁目） パートナー企業公式HP：<https://agrimedia.jp/>

コテージの前に広がるのは、大きな空と稲穂の絨毯。渡瀬川と利根川に囲まれた、実り豊かな田園の街を拠点に、ワーケーション感覚で自分の畑に通うくらしが叶います。ウッドデッキをアウトドアリビングとして、採れたて野菜で料理を味わうなどアイデア次第で過ごし方もいろいろ。週に1回程度、菜園アドバイザーによる訪問サポートもあるので、野菜づくりが初めての方でも安心です。※1年単位でのご契約です。



■三井不動産グループのSDGsへの貢献について https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境（E）・社会（S）・ガバナンス（G）を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】・「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

目標 8 働きがいも経済成長も

目標11 住み続けられるまちづくりを

